1965
2 月 号
No.135
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

2月の人口と世帯

人口 7.728(+4)
男 3.823(+1)
女 3.905(+3)
世帯数1.235(0)

国有林の解放が決定
牧野の造成と集団桑園

農業構造改善事業すすむ

遅れている農業を近代化しようと、全国各地の農村で構造改善事業が進められています。本村では畜産と養蚕の拡大をはかるため、国有林の解放を強く要望してきましたが、特別立法に先んじてこのほどようやく営林局から所属替や貸付が決定したので、次の各地区では一斉に事業に着手しました。

本号では事業の概要を紹介し、皆様方とともに本村農業の進むべき道を考えてみたいと思いますので、編集部(鈴木一)まで御意見をお寄せ下さい。

牧野造成事業

①大戸中牧野組合
（ ）内は組合員数
組合長 小松操(十二名)

国から所属替を受ける五町歩の山林を開墾し、草地造成を行う。いま土地改良区と大森産業のブル三台が作業を進めています。さらに立木地十五町歩は貸付をうけ林間放牧場とする。三十九年度中(三月末日)には一切の事業を完了する予定です。

総事業費は約一一〇万円で牧柵二、〇〇〇米には近代的なアングル(鉄製柱)を用います。

②渡瀬牧野組合
組合長 菊地幸吉(二十二名)

この地区は鹿角平村営牧野の隣接地で、国から二十町歩は所属替をうけ草地造成を行う。外に隣接の立木地は放牧場として約六十町歩の貸付を受けます。

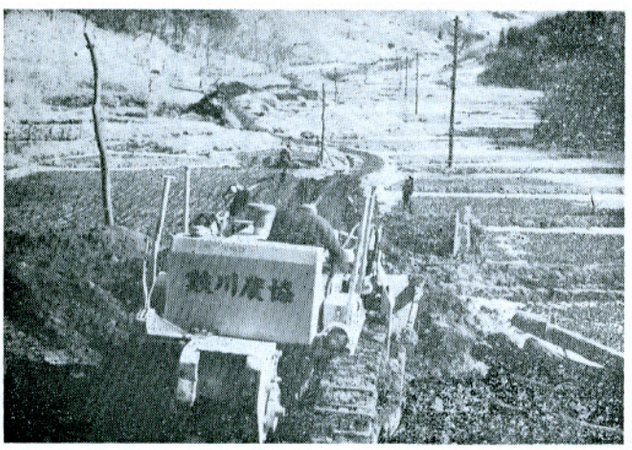
牧柵は五、六〇〇米すべてアングルを用い総事業費は約三五〇万円です。

現況は写真の様に草地となる予定の二〇町歩内に五〇基からの炭ガマが煙を吐き、六割程度の立木が伐採されました。

③村営東野牧野
内容は先月号で紹介したので省略します。



県下で初めて解放の決定した国有林に行われる農業構造改善事業—伐木製炭のあとは草地造成が行われる。



大戸中部落の協業和牛では、国有林の解放地に草地造成5*ha*、放牧場15*ha*を開発する。牧道作りにブルが活躍している。

集団桑園事業

①青生野蚕協業組合
組合長 大竹保(二十二名)

計画当初は青生野組合員は五名で、集団桑園九・五町、江堀組合は十八名で十七町歩を国から所属替をうけて協業養蚕を行う計画でしたが、その後、両組合員が全員一致合併に賛成して、自主合併が決定しました。それで二六・五町歩という全国一の集団桑園を造成することになつて張り切つています。

用地は全部国有林野で所属替も決定し、境界もきまり石標埋設が行われました。しかし立木の競売入札がおくれて伐採搬出がひまどつています。従つて本年度は伐採が完了した四・一町歩だけについて事業を行い残りは四十年度にもちこされました。三十九年度の事業費は二、八八六千円で近代化施設として壮蚕飼育所三棟、上族室二棟、飼育上族用器具三セット、並に動力防除機一台を購入します。

こうしてわが村の農業構造改善事業は力強く実行の段階にはいつたわけです。



(集団桑園になる青生野国有林の伐木状況)

41年度に改築か

老朽化した公民館の改築促進をはかるため、先に県南地方の新築公民館を視察しましたが、その反省をかねて二月二日に参加者四十三名が出席して役場会議室で改築促進協議会を開きました。

この会では各公民館の長所と短所を話し合つた後に改築方針が協議しましたが、他の事業との関連もあつて四十年度は財源の点で無理であろうとの結論になり、四十一年度改築を目標に村民の協力を呼びかけることになりました。

鮫中屋体で
郡婦人大会

三月四日午前十時より郡婦連主催の大会が鮫中屋内体育館で開かれます。

当日は郡内の婦人会員約三百名が集り午前中に各町村より体験発表、午後は棚倉地区農業改良普及所の岩田所長の講演のあと、レクリエーションで大会を終ります。

中学卒業生の進路

この三月卒業される中学生の進学及び就職希望者は次のとおりになつております。

学校名	卒業予定生徒数	進学希望者数	就職者 県外	県内	家事従事者	計
鮫中	179人	79人	63人	20人	17人	100人
渡瀬中	28	18	5	4	1	10
青生野中	20	7	7	2	4	13
計	227	104	75	26	22	123

七会場での話し合い

村長、議員をかこんで 婦人の政治学習

一月十一日から三日間にわたり婦人会と公民館の共催で各区ごとに村長さんと議員さん方をかこんで、婦人の政治学習が開かれました。

各会場とも寒さのためか出席者は十五名から二十名ていどでしたが、集つた方から次のような要望が出て、自分たちの住む郷土を、より良くするための話し合いが行なわれました。

富田会場（　）内は重複の地区

①自転車で通学する生徒が多くなつているが道路の巾が狭いので、危険な場所は巾まし工事を考えて下さい。

②農業委員会に花嫁相談所の看板が出ているが、活躍していることは聞かないので本腰をいれて下さい。（各会場に同様の声あり）

渡瀬会場

①教育費が家計のなかに占める割合が大きいので奨学金の申込方法を知らして下さい。できれば村でも出して頂ければ助かります。

②冬の出稼ぎを少なくするために、地元で現金収入を得る道はないでしようか。

③学校給食を早く実施して下さい。

（東野）

西野会場

①道路はだいぶ良くなつてきたが部落的には悪い所もあるので改修してください。

西山会場

①中野に通ずるバスと、古殿西山・棚倉間のバスが早く開通するように努力して下さい。

中野会場

①幼児の安全としつけを良くするため、幼稚園か保育所の設置を考えてください。

②母子健康センターの運営には他町村に負けないサービスをおねがいします。

東石会場

①教員住宅がないと先生が落つかないので、良い先生にながくいて貰うためにも住宅建築を考えて下さい。

（富田）

その他各会場とも成人式の服装の問題や公民館改築のさいの結婚式場、農家の嫁不足が深刻になつていることが話し合われました。

雪のため村当局が参加できなかつた青生野会場では土手内議員を中心にして

①母子健康センターが作られても道路がよくならないと利用しにくいので道路をよくしてください。

②地元の負担があつてもバスの運行を実現してください

③避地の教育を振興するために老朽校舎の改築、完全給食の実施、教員住宅の整備を村にお願いします。

④農業構造改善事業は地元負担が多すぎるので補助金の増額ができないものでしようか。

などが話しあわれました。

（文責　鈴木）



村政の歩み (19)

バランスのある政治

村長　石田　卯子八

朝日ジャーナルに「まちの政治・むらの政治」という記事がのつているので、毎号興味深くよんでいます。これは全国の問題のある市町村をとらえて、記者の感覚で解明したものですが問題市町村にもいくつかの類型があります

古い型の権力争いや部落の対立抗争で「住民をおき忘れた自治」は、前近代的ともいえましようが、無暴な財政で破たんに頻した市町村や、独善的な施策で住民の福祉が失われた事例はかなり多いようです。

財政規模を無視した過大な先行投資で、まちを誤つた例にはいたましいものがあります。

行政水準を上げていく努力はどこの市町村でもやらなければならないが、そこに自ら存在する力の限界を忘れてはならない筈です。

現在の時点においてなすべき公共投資――それは投機的なものであつてはならず、すぐそのはねかえりが住民の上にくることを考えなければなりません。

個人経済でも生産と消費は調和しなければならないし、所得と生活のアンバランスはそうながく続くものではありません。

町村の行政は、横の面からは産業教育、福祉などがつりあいがとれており、他の面からは、入るべき財源と、出すべき経費のつじつまが合わなければならないことは、もちろんです。

背のびをつづける財政が、一・二年にして行きづまり、あと数年の沈滞期を余義なくされることはよくある例です

本村の財政は昭和二十八年度に赤字決算をしたことがあるだけで、一応健全均衡財政を堅持してくることができました。

国民健康保険も診療所会計も一時は危機に立ちましたが幸にもちこたえることができたわけです。

しかし国保も直診も国の医療行政の動向によつては、容易でない事態も考えられます

予算編成期になりますと、あらゆる方面から増額やら新規の要望が出て、何れもうなづける内容のものですが財政力の限度を誤らず、健全性と均衡性を失わないよう努めたいものです。

（な）（わ）（し）（ろ）

準備にぬかりなく

昨年は、旱ばつや長雨によつて、倒れたり穂発芽したり、また実入りが悪く大変減収いたしました。

今年の天候も油断ができませんので、昨年の作柄を十分検討して今年の計画をたてましよう。

そろそろなわしろの準備を始めなければなりませんが、苗作りの要点を申し上げましよう。

苗は昔から、なわしろ半作といわれるように、苗のできて合が作柄に大きく影響しますので、良い苗を十分に確保するようにいたしましよう。

1早中生種を主体にすること

安全稲作を行なうために、早中生種を選定することが大切です。

2保護なわしろで苗を作ること。

畑なわしろや、保温折衷なわしろによつて、活着のよい丈夫な苗をつくること。

3なわしろ面積を多くすること。

なわしろ面積を二～三割多くして、苗の確保を図ること。

4種子消毒の励行

イモチ病、馬鹿苗病などを予防するために種子消毒は必らず実行すること。

5適期は種

田植の予定をたてて、適期には種するようにすること

6施肥の合理化

三要素の適量施用をすること。肥料の種類は単肥かなわしろ化成を準備いたしましよう。

以上の点に留意して、なわしろの準備をすすめましよう。

（県農政部農業改良課）

2月 桑畑の手入れ

枯れ枝をそのまま放つておきますと、春先になつて「ヒメゾウ虫」にくい荒されて芽の出ない枝が出来ます。「ヒメゾウ虫」の害を防ぐためには、今のうちに枯れ枝の整理をしておくことです。天気のよい日には桑畑を一廻りして、せんていばさみやせんていのこぎりで、枯れ枝や小枝など切り取り作業をしましよう。

枯れ枝の整理によつて害虫の被害を少なくするばかりでなく、桑のせんてい作業や収穫作業が、楽に能率があがります。枯れ株もいろいろな病害虫の巣になる恐れが十分ありますので、農閉期を利用して堀り起して補植の準備をしておきましよう。

最近多幹式といつて、株の上つた桑の仕立方が多くなつて来ましたが、株が高くなると「コウヤク病」が多くなります。この病気は桑の幹や枝に褐色あるいは暗褐色のビロード状の膜が出来、「コウヤク」をはりつけたように見えます。

それをそのまま放つておきますと、桑の発育する時期に桑の養分が取られてしまい、たくさんついた場合は枯れることさえあります

「コウヤク病」は雨の降つた後など、また幹や枝が湿つているうちに「竹ベラ」か小さい草けづりなどで膜を削りとつた後、石灰硫黄合剤を塗つておきましよう。

（県農政部蚕糸課）

議会だより

◉昭和四十年、第一回鮫川村議会臨時会が去る一月十六日に招集されました。

付議事件とその結果、

1、会議録署名議員の指名（十番、星弥義・十一番、船木　操）

2、会期の決定（一日間）

3、請願第四号継続審査の件（継続）

4、議案第一号、昭和三十九年度鮫川村一般会計補正予算（原案可決）

議案第二号、昭和三十九年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算（原案可決）

5、議案第三号、鮫川村道路線の認定について（原案可決）（渡瀬小学校前の道路）

◉学校給食センター視察、去る一月二十六日に議会文教常任委員（委員長船木　操）は学校給食に関する計画及び施設の状況等について、教育委員及び関係PTAと合同で石城郡好間村と平市内の給食センターを視察しました。

◉第四回特別委員会

去る一月二十八日、継続審査になっていた、土地の所有権移転登記履行に関する請願審査について、先きに証拠書類の提出を求め審査したが不明の点が多いので、この日は証人の出頭を求め、証人訊問により審査をすすめた結果、ほぼその内容が明らかになったので第二回村議会までには結論がでるものと思われます。

（証人、元村長吉田義美、地元代表、本郷勝重、松崎盛義）

◉議員懇談会開催

二月三日役場会議室において議員懇談会を開き、住民の意志をよりよく議会に反映させるべく議員の立場からそれぞれ意見を交換しました。

◉農業構造改善事業先進地視察。

今や近代営農への開拓ともいわれている農業構造改善事業について、去る二月四日五日の二日間にわたり双葉郡川内村及び石城郡田人村の先進地を議員一行六名で視察しました。

（議会事務局）

日赤に協賛されたかたがたの御芳名

日本赤十字社の博愛の精神に共鳴され、特に特別社員として協賛加入されたかたは次のとおりです。

各位の御篤志に深く感謝いたします。なお特別社員の勧誘について御尽力を願いました協賛員蛭田京之助さん及び各区長さん方に対して厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社鮫川村分区

公民館報一〇一号発表以後の方々

松本清寿、鈴木賢一、鈴木市夫、芳賀一郎、遠藤幸治、佐藤晃、鈴木源義、蛭田栄国井一良、円井彦兵衛、水野義政、山形孝之、大池基義、遠藤忠助、中川西金之助、鷲野谷満、芳賀理男、円井義哉、佐藤政輝、渡辺亘、中川西吉次、中川西安正、芳賀登、小宅利光、水野つな、湯座重雄、星弘、星弥義、佐川友丸、阿久津秀勝、鈴木力弥、根本昭三、金沢一、大竹卯吉、生田目長治、関根敦、高坂正雄、前田正孝、田子菊之助、本郷清美、生田目定美、鏑木正一、石井春吉、前田千代之助、前田幸正、前田登、蛭田久女雄、蛭田覚、坂本義利、舟木次雄、北条昭一吉田喜雄、芳賀光美、吉田芳弥、山形アイ、蛭田フサ芳賀サダヨ、前田勝一、小峰宗助、佐藤信正、北条正人、青戸学男、吉田義美、蛭田フク、大池義一、蛯原武志、岡部初男、田中義明芳賀輔宗、湯座美良、緑川清吉、岡部格二、近藤陸男遠藤シナ、酒井弁、蛭田留次、近藤保、水野一政、水野福馬、渡辺喜好、湯座実渡辺豊、我妻久雄、石原しん、鈴木昭、小峰孟、鈴木一、鈴木ツル、鈴木アサ、杉木貞治、矢吹菊雄、矢吹春義、鈴木喜一、生田目政芳、鈴木幸栄、阿久津芳郎水野馨、木郷卯弥、関根保関根信政、我妻忠重、鈴木一実、市川正、我妻与吉、本郷銀七、鈴木芳男、安藤祐夫、中川西克己、中川西セツ、遠藤スイ、鈴木嘉上味原伊助、松本直春、木之内清、小松富治、藤田滋、芳賀洋郎、宮崎要、芳賀文雄芳賀正一（次号につづく）

子供を理解して下さい

（親と子の話し合い）



鮫中二年の学年PTAではこのほど保護者と生徒の集いをもち、親と子が対等の立場で話し合いをしました。

当日は保護者二十名生徒二十二名、教師四名が集り吉田学P会長の司会で進められましたが、生徒たちは初めての会合に固くなったのか、最初のうちは沈黙を守っていましたが、「今の子供は何を考えて行動しているか分らない」などの発言に、「あなたの子供を信じなさい」と勇敢な発言をする女生徒もあって話がはずみました。

生徒から親に

話のなかで生徒が親に対して要望する主なことは次のようなことでした。

・勉強しているときに用事を言いつけないで下さい。父母ができる仕事は自分でやって欲しい。

・テレビは自分でみたいものを見せて下さい。自分たちだけで見て「勉強しろ」などと言わないで下さい。

・勉強に熱中しているときに「早く寝ろ」などと言わないで、勉強する子供の立場も理解して欲しい。

・毎月きまった金を小使として頂きたい。小使が少ない家の収入がどのくらいあるか知らせて欲しい。

・流行歌を歌って悪いなどとキメつけないで下さい。勉強部屋に大人がみる週刊誌などおかないで下さい。

・用事をさせるのに金でつるようなことはしないで下さい。

・「家の子供は頭が悪くて駄目なんです」などと親の口から言わないで下さい。

（文責　鈴木）

卒業前の青少年と家庭へ



卒業を目前にひかえた青少年とその家庭では、よろこびと心配が交錯し不安な日々を送っていると思われます。

小学校から中学校への段階では特別な問題は少ないが、中学校と高等学校の最終学年にある生徒は、就職や進学の問題に直面しているので、精神的に負担が重く、また動揺もしやすくなっています。

例年この時期の前後には、青少年の家出や自殺などが多くなったりするのも、これらのことと関連があるといえましょう。

このようなことから、卒業期をひかえた青少年と家庭では次のようなことがらに特に注意していただきたいと思います

1　卒業する青少年に対して

卒業するということは、それがやがて、またそれぞれに新しい出発点に立たなければならないということです。もうすでに就職の決定した者も多いでしょうが、進学希望者は、これからが難関であるともいえます。いままで仲よくしてきた友だちも、これまでのように親しく相談したり、助け合ったりすることができなくなる場合もあるかもしれません。小さなつまずきを大きな失敗と考えて絶望したり無力感にとらわれたりせず、いつでも悩みを打ちあけて相談できる人をもっていることが、いちばんたいせつです。

そして誰にも打ちあけたり相談しないで、思い余った行動に決つして出ないようにしてください。

また季節的にみても寒気はきびしく、感冒など健康をそこないやすい時期です。入学試験や就職試験などのたいせつな時期に、病気で倒れることのないよう、まず健康に留意してください。

2　家庭に対して

親のほうが子ども以上に過敏になって、いらいらさせるようなことがあってはなりません。

家庭内ではつとめて明朗なふん囲気をつくるように努め日常の言動にも当人をいらだたせないように心を配ること、健康状態についてもじゅうぶん気をつけてやることが必要です

子どもに対する激励と過度の要求とを賢明に区別することは、むずかしい問題ですが親として最も重要なことです。学校とも密接な連絡をとって慎重に青少年の指導にあたりましょう。

（県教育委員会）

告知版

所得申告のお知らせ

所得税の申告は三月十五日まで、村県民税及び事業税の申告は三月二十日までと法律で定められていますが、これらの申告を期限内に行わないといろいろの控除が認められなくなり納税者が大変損をいたします。

村では所得税納税者の便宜を計り申告書の記載指導をかね次のとおり、所得税、村県民税、事業税の三税共同納税相談日を設けましたから利用して下さい。

記

日時　三月八日午前九時より午後三時まで

場所　鮫川公民館広間

所得税にも事業税にも該当のしない村県民税のみの納税者の申告は各区に係員が出張して受付を行いますが、期日については後日回覧板でお知らせします。（税務課）

談日を次のとおり設けましたので御利用下さい。

記

日時　三月八日午前九時より午後三時まで

場所　鮫川公民館広間

無償教科書の配付

ことしは小学一年生より五年生までの新学期から使用される教科用図書は無償で配付されます。

来年は中学一年生まで配付の対象になります。

無償教科書の配付

昭和三十九年分所得税の確定申告と納税は三月十五日、昭和三十九年分贈与税の申告と納税は三月一日限りです。

お忘れなく期限まで申告と納税をすませましょう

（棚倉税務署）

改善事業・進むパイロット地区

産業振興の研修視察報告記

去る二月四・五日の二日間にわたり県のパイロット地区として事業を進め、着々と成果をあげつつある、川内村と田人村を議会議員六名と事務局、産業課長二名が視察しました。次にその研修報告記を掲載します。

統一した指導態勢

両村とも生産計画の指導を重点にし、村と農協の他に各種団体の緊密な提携の下に統一した指導態勢をとっています。とくに田人村の場合は農業経営を統計資料から再分析して指導資料にしています。

酪農の振興

ここでは両村とも酪農組合の統合をはかり農協の畜産部門に吸収しています。販売は学校給食と合せ基幹集乳所にミルクプラントを設置し市乳の増大をはかり、将来は新産都市、郡山・常磐地区、さらに東京圏への進出をめざし、酪農の飛躍的な振興をはかっています。

県下一の製材工場

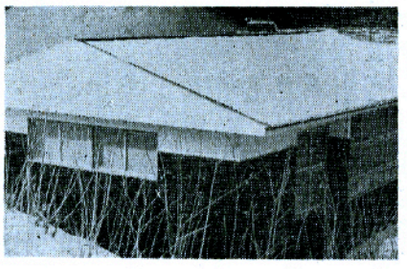
田人村では、高い山岳が連なっているが、植林熱が盛んで、いたるところに美林がみられます。森林組合の経営する製材工場は県下一の近代設備を誇り、製板からチップまで、一環した流れ作業で産出する木材の六割が、ここで消化されている現状で、林業振興に寄せる熱意がうかがわれました。

県下一の公有林をもつている川内村では、新農村事業で三町余の杉苗圃をつくり広大な植林を進めています。

コンニヤクの乾燥機

特用作物としてコンニヤクは有利な作物であるが、価格変動の激しいものであり保存するにも手間がかかるので、本村でも栽培農家は多くないが、田人村では、農協が重油バーナーを使つた乾燥機を使用して近代施設を経営しており、組合員の委託加工をうけて昼夜三交替の活動をしていますが、有利に販売するための一方法ではないかと感じさせられました。

（金沢記　文責鈴木）



渡瀬中の技術工作室（教室二十五・七五坪、テラス六・二五坪）はかねて塙町大滝工務店の請負で新築中のところ一月三十日完成しました。

西山小にステレオ

東京都府中市で労務管理事務所を管理している市川正さんの弟にあたる貞さんが、出身校である西山小に時価七万四千五百円のステレオ装置一台を、このほど贈られました

同校では早速、音楽指導用に利用しているが、ステレオなど見たこともない生徒が多いので、すばらしい音響に驚いています。

国保だより

日本人は、薬や注射を必要以上に有難がるといわれています。保険診療による医者への支払では、その七〇％以上が投薬と注射に使われます。

なかには、はつきり二日酔いとわかつている患者が医者をたずね、肝臓薬の注射などをしてもらつていることさえあるようです

こういう患者こそ。医療の浪費をつくり出しているといつていいのです。薬の乱用は抗生物質の耐性（薬が菌に効かなくなること）、ストマイによる聴力障害等、さまざまの障害をまねくことさえあります。二日酔なら薬よりも生活の規正、栄養の摂取、健康知識の勉強などの方が、はるかに良くきく筈です。

（住民課）

年賀はがきの賞品はお早く

一月二十日からお年玉賞品の、ひきかえを行つております。せつかくのプレゼントをお早めにお受け取り下さい。当せんしたはがきは、くじ番号を切りはなさないでお持ちください。

なお三等以上に当選したはがきには、くじ番号の下へ名前を書くか認印を押して、はがきのままお持ち下さい。

犬はかならずつなぎましよう

危険な犬を、はなしがいしていると郵便を配達しないことがありますので、ぜひご協力下さい。

あて名は正しく完全に

あなたの大切な郵便が間違えなくとどくよう、あて名は正しくお書きください。町名番地のほか、同居人には肩書をつけて下さい。

表札はあなたのしるしです

郵便配達の大事な道案内です。各戸にぜひ表札をつけてください。

記念切手発行のおしらせ

三月十日（富士山頂）十円

三月十五日（上信越）五円

十円

（鮫川村郵便局）

編集部に金一封

（ん）（き）（ん）（ね）

今月は昭和三十九年度分の国民年金保険料完納月間として皆様の御協力をお願いしております。

昨年と同じように三月分までの保険料を二月中に完納した組合に対して、奨励金をあげることになりました。

未納になつている組合はこの際完納のうえ、奨励金の交付を受けて下さい。

（住民課）

本村の西野出身で現上野警察署で係長をしている増谷己佐男さんから、広報を毎号送つて頂く御礼として金一封を編集部に送られました。私たちの広報紙が遠く故郷を離れて活躍していられる皆さん方に、これほど読まれていることに責任を感じさせられました。増谷さんに紙上より厚く御礼申し上げます。

おめでた

一月

一日　沼野沢　水野　充

一日　吉合　斉藤　博

一日　大房　吉田日出男

八日　火打石　佐藤　文子

九日　青生野　中島　明美

一一日　戸倉　関根　晴美

一五日　上野町　吉田　成一

一五日　青生野　平久江光江

一七日　石ノ花　舟木　文枝

一八日　馬生田　窪木美穂子

二〇日　椚久保　有賀　康仁

おくやみ

一月

一日　戸草　小林　ナヨ　76

六日　酒垂　石井　トメ　71

一三日　菅野目　大竹チヤウ　85

一八日　大戸中　小松　重忠　65

二〇日　棚橋　関根　イチ　65

二六日　鍛治平　芳賀　セキ　80

二七日　宮沢　五十嵐四郎　55

二七日　大石草　芳賀　キク　87

三〇日　大塩　水野初之亟　72

あとがき

▽学年末も近づき進学、就職される、お子さんをもつ親の方々の心配はつきないようです。県教委の「卒業前の青少年と家庭へ」、何かの参考になればと思い掲載しました。

▽「今の子供は分らない」、これは現代の親たちの共通した意見のようです。然し子供から言わせると「今の親は分らない」となるようです。

「あなたの子供を信じなさい」の言葉どおりには、受けとれないにしても、現代の子供たちを理解する努力を怠つてはならないでしよう。

（鈴木）